

不安の中「早く撤去を」

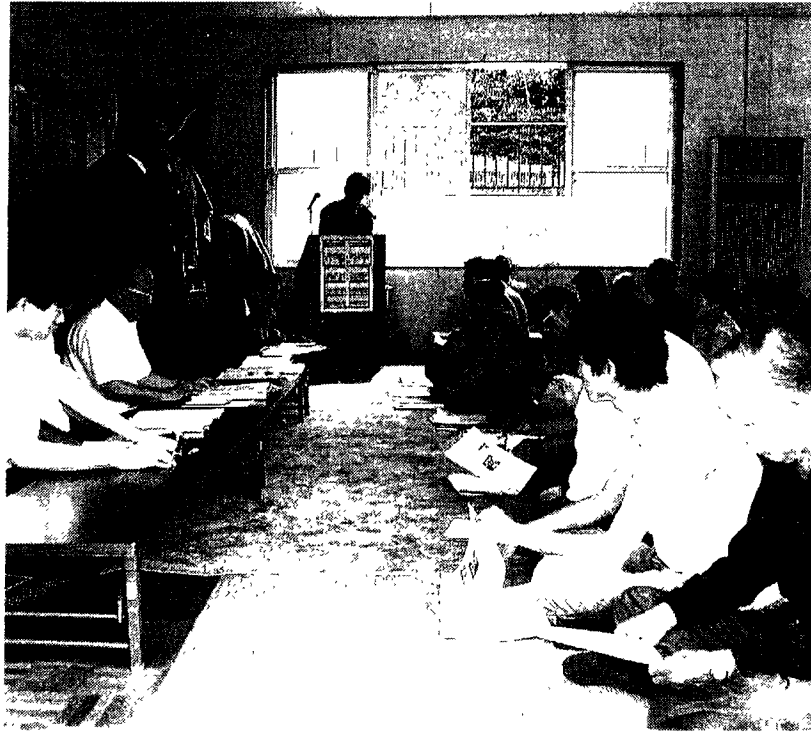
県内のフェロシルト埋設地重金属汚染

「なぜ防げなかった」

住民 行政の後手責める

六価クロムなどの重金属汚染が判明した瑞浪、土岐、可児市のフェロシルト使用地では九日、住民らが環境への不安感をにじませた。ただ放射能汚染への心配から、これまでも撤去を求めてきた経緯があるだけに、全量撤去の方針に「これで安心して住むことができる」と安堵（あんど）する住民も。また「埋め立てを防ぐ手だてはなかったか」と行政に対する批判の声も上がった。

フェロシルトは昨年十一月積み上げられ、川が赤く濁ってアップされた。県内でも二月、愛知県瀬戸市に野たこと初めてクロース、瑞浪市や土岐市、可児市



に埋まっていることが次に発覚。微量の放射性物質を含んでいることも分かった。住民らが石原産業に撤去を求めていた。住民運動を展開してき

た可児市大森の宮島鉦二平林自治会長は「住民全員が撤去を望んでいたのだけれど、今後は撤去方法を検討したい」と喜ぶ。三重県に認定の取り消しなどを求めてきた岐阜市の市民団体「放射能のゴミはいらない！市民ネット・岐阜」の兼松秀代代表は「住民の声を通じた。石原産業が責任を持って処理するまで見届けたい」と話した。

フェロシルト「安全製品」三重が認定

行政が推奨するリサイクル製品に、一転して土壌汚染の疑いがかけられている。埋め戻し材「フェロシルト」の使用箇所について県が行った調査で、重金属などの汚染が確認された九日、リサイクル品に認定していた三重県にある製造元の石原産業は対応に追われた。汚染との因果関係は不明だが、同社は汚染箇所からの回収を示唆する。だが販売量は東海三県で七十万トとされ、今後の汚染拡大については未知

な。一方、三重県は「認定にあたって含有量分析の報告を受けたが、六価クロムは検出されていない。成分に変更がないか、年一回の回収には否定的な見解を示した。」と釈明する。石原産業側の申し出で認定は取り消されたが、制度の在り方には疑問が投げ掛けられた形だ。

住民説明会で、石原産業や三重県にフェロシルト撤去を求める住民ら五日、可児市大森、平林公民館

放射線物質を含むことや崩落、流出の恐れから、住民が反発を続けてきたフェロシルト。住民との協議でも、同社は施工方法の過失を認め、製造・販売を中止しながら、製品については「リ

造成地から六価クロム

瑞浪、土岐、可児市で検出

最大で基準の15倍

フェロシルト埋設地

製造業者が撤去へ

放射線物質を含む埋め戻し材「フェロシルト」の使用をめくり、県内などの住民が反発している問題で、県は9日、瑞浪市稲津町、土岐市泉町、可児市久々利の三方所のフェロシルトを使った、住宅などの造成地から土壌基準を超える重金属などの有害物が検出された、と発表した。検出された有害物は六価クロムが基準の最大約十五倍、フッ素が約二倍。同製品は三重県がリサイクル品認定し、使用を推奨していた。製造元の石原産業(大阪府)は、岐阜県の要請を受けて撤去する方針。

【関連記事31面に】

県は住民からの苦情を受け、先月、県内で使用していた、土壌や浸出水、放射線物質が確認された四カ所について、



埋め戻し材「フェロシルト」を使った土壌から、重金属類による汚染が見つかった造成地—瑞浪市稲津町

フェロシルトは酸化タタンの製造過程で生まれる使用済み硫酸を基にした製品で、石こうと酸化鉄が主成分。ウランなど微量の放射性物質も含まれる。製造元は三重県の石原産業四日市工場。土地造成時の埋め戻し材として、2001年から子会社を通じて東海3県で販売を始め、三重県は同年、県条例に基づき、



射線の環境調査を実施。その結果、六価クロムの基準値が土壌一辺中〇・〇五ミリグラムに対し、瑞浪市で〇・一四ミリグラム、土岐市で〇・一五ミリグラム、可児市で〇・七六ミリグラム。フッ素は基準値の〇・八ミリグラムに対し、瑞浪市で二〇・〇ミリグラム、土岐市で〇・九ミリグラムを検出した。可児市大森は基準値内。放射線量は四カ所とも自然界とほぼ同等だった。浸出水は近く結果がまとまる見通し。

石原産業が所持していたフェロシルトからは、六価クロムが検出されなかったことから、有害物との因果関係は不明という。しかし、サンプルはフェロシルトが大半の土壌から採取しており、県は「使用後に化学変化を起したか、使用の際に別の物が混入した可能性もある」とみている。同社は「出荷時点の安全性に問題はなく、原因は分からぬ」としている。

県内では少量が使われた恵那市三郷を含め、計約三万トンの使用を確認しており、今後は地下水調査も実施し、石原産業に対しては撤去作業を監視・指導していく。同社などによると、フェロシルトのこれまでの販売量は約七十万トで、東海三県十五カ所で使用を確認しており、他県でも汚染が確認されれば撤去を検討するという。

三重県は同日までに、石原産業側がリサイクル品認定の取り下げを求めたため、認定を取り消した。